

「知る・守る・活かす」 文化財の保存継承に向けた取組への支援

4 質の高い教育を
みんなに



- ▶文化財の確実な継承に向けた保存・活用への支援の充実を図りたい。
- ▶文化財の保存・活用を支える地方公共団体における文化財保護技術者の確保・育成に対する支援をお願いしたい。

【提案・要望先】 文部科学省

1. 提案・要望内容

(1) 文化財補助事業等の拡充

- 県及び市町で行う文化財の確実な継承に向けた保存・活用への支援の充実および補助率の引き上げ

(2) 文化財保存活用大綱及び文化財保存活用地域計画に基づく施策への支援の充実

- 「文化財保存活用大綱」及び「文化財保存活用地域計画」に基づく、地域の文化資源の継承・磨き上げ施策に対する支援の充実

(3) 文化財の保存活用を進めるための人材の確保・育成に対する支援

- 文化財の保存・活用を支える地方公共団体における文化財保護技術者の確保・育成に対する支援

<概算要求等の状況>

【文部科学省】文化財の公開活用、伝承者養成、鑑賞機会の充実等 11,957百万円（前年度予算額 6,670百万円）、博物館等文化拠点機能強化・地域文化観光推進プラン 5,017百万円（前年度予算額 2,001百万円）

2. 提案・要望の理由

- 新型コロナウイルス感染症の影響によって、人々の意識や生活様式とともに、社会状況が大きく変化する中で、文化財を取り巻く環境も大きな影響を受け、地域によって支えられてきた本県の文化財の特徴を今後も保持していけるかどうか、県内全域において大きな課題。（滋賀県の国宝・重要文化財件数：全国4位）
- 地域に根付く文化財をより多くの人々の支えにより守りつづけるため「滋賀県文化財保存活用大綱」を策定し、市町の「文化財保存活用地域計画」の策定を支援。
- 文化財を確実に継承するための支援の充実に加えて、文化財の魅力向上に向けた取組に対する支援が必要。
- 文化財の保存と活用を行うために、文化財保護技術職員の確保・育成が重要。地方公共団体における取組に対して、国として支援いただくことが極めて重要。

(本県の取組状況)

(1) 文化財補助事業等の拡充

《「幻の安土城」復元プロジェクト》

- 安土城の実像を解明し、目に見える形で復元することで、安土城の魅力を広く発信することを目的に実施。

安土城の実像解明に向けて赤色立体地図作成を行ったほか、安土城見える化の方向性・方法を検討。今後、安土城の情報を発信する中核施設である県立安土城考古博物館の機能強化に向けて基本計画を策定。(滋賀県)

《国史跡伊勢遺跡保存整備事業》

- 国史跡伊勢遺跡を未来に継承するとともに、多くの方に活用していただくため、遺構展示施設や展望施設、外構施設の整備工事を実施。(守山市)



(2) 文化財保存活用大綱及び文化財保存活用地域計画に基づく施策への支援の充実

- 大綱：県立高等学校での「文化財を知り、考える」授業の実施

「みんなで文化財の保存継承を支えあう地域づくり・人づくり」のため、県立高等学校において、教育現場と連携し学校周辺のフィールドワークと講義、グループワークを実施。

- 文化財保存活用地域計画：草津市・甲賀市（令和2年7月17日認定）

・史跡草津宿本陣の整備活用事業 ・史跡紫香楽宮跡の整備活用事業

- 現在、7市1町で文化財保存活用地域計画を策定中

(3) 文化財の保存活用を進めるための人材の確保・育成に対する支援

- 文化財の保存と活用を行うために、文化財保護技術職員の確保・育成が重要。より適切に文化財を保存・活用するための人材の確保にむけた取組を実施。

- さらに技術を向上させるためにも、他自治体や機関との人事交流等の取組が必要であり、実施に向けた国等の支援が必要。

担当：文化スポーツ部 文化財保護課
管理係 TEL：077-528-4671